



【新規】観光大使にシナモロール ～都市型観光プランを推進～

◇事業目的

区は、平成 27 年度に策定した「都市型観光プラン」に基づき新たに発足した「品川区観光振興協議会」を中心に、官民一体で観光事業の推進を行っている。平成 29 年度は、さらに品川区内の観光関連団体間の連携を密にして、観光事業の幅広い展開を図る。

◇事業内容

(一社) しながわ観光協会と連携して、品川区の魅力を国内および国外に広く発信し、来訪者の増加とにぎわい創出を促進する。

1. 「シナモロール」を観光大使に任命【観光情報の発信】

(株)サンリオ(大崎 1)のキャラクター「シナモロール」を観光大使に任命し、「しながわ観光フェア」のイメージキャラクターに活用するなど、観光情報の発信を強化する。

2. フィルムコミッション事業【観光情報の発信】

- (1) 区内撮影可能場所の調査・発掘
- (2) 撮影場所の紹介ホームページの作成

3. 明治維新周年関連事業【観光資源の整備】

2018 年の明治維新 150 周年に先立ち、周辺区と連携して、幕末・維新の偉人や出来事に関連がある場所を結ぶパンフレットの作成やまち歩き事業などを行う。

4. しながわ百景ウォーキングマップ作成【観光サービスの充実】

- (1) リニューアルした「しながわ百景」のウォーキングマップの作成
- (2) ウォーキングマップを活用したまち歩き事業などの実施

5. ケーブルテレビを活用した情報発信事業【外国人観光客の誘致】

- (1) 品川の観光スポットを紹介する映像を作成しケーブルテレビ品川で放映
- (2) 外国人来訪者の増加に向けて、海外にもネットワークをもつチャンネルで放映
- (3) 区公式ユーチューブチャンネルで全世界に配信

◇事業予算

310,931千円

(内訳)	観光資源の整備	124,970千円
	観光サービスの充実	92,568千円
	外国人観光客の誘致	35,879千円
	観光情報の発信	57,514千円



問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6934

【新規】区制 70 周年記念 しながわ百景を AR で PR

◇事業目的

区は、区制 70 周年を記念し、30 年ぶりに「しながわ百景(※)」を平成 29 年 1 月、リニューアルした。これを機に、AR (Augmented Reality「拡張現実」) 技術を活用したアプリを導入し、区民や来訪者にビジュアルな機能を生かした楽しいまち案内を提供する。

同時に、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、多言語にも対応し、日本文化や歴史に興味がある外国人への案内を強化する。

※昭和 62 年 (1987 年) に区民投票で決定

◇事業内容

リニューアルしたしながわ百景等の地域資源をスマートフォン端末等で紹介できるように、AR 技術を搭載したアプリを提供する。

1. しながわ百景紹介アプリ

「しながわ百景」の現地で、スマートフォン専用アプリで位置情報を取得すると、その場所にある「しながわ百景」の説明を表示する。利用者はスマートフォンの文字拡大機能で読みやすい表示に変換することが可能。

※しながわ百景以外に、一部の文化財や観光スポット等も表示

2. AR 技術を駆使した「記念撮影スポット」

主要なスポット(約 10 カ所)を選定し、AR 技術を駆使した「記念撮影スポット (フォトフレーム)」を用意し、利用者の SNS 投稿を促す。

※撮影スポットには、「しながわ巡り」アプリにも登場するキャラクター(シナモロール)やご当地キャラクターを活用

※「時代屋」などかつて姿を消した百景について、AR 技術で表示することも検討

3. 多言語対応

日本語以外に、英語・中国語(繁体・簡体)、韓国語に対応する。

◇事業予算 8, 813 千円

◇連携事業 「しながわ百景ウォーキングマップ」



春の目黒川が目の前にあるように、スマートフォン上に表示(拡張現実)





外国人への「おもてなし」に積極的な商店をPR

◇事業目的

区内商店街での外国人観光客受け入れの機運を醸成するとともに区を訪れる外国人観光客の来街を促進し、区内商店街における国際化対応の推進および活性化を図る。

◇事業内容

異文化理解やおもてなし強化の取り組みを実施するとともに、外国人観光客の受け入れに積極的な商店および商店街を積極的にPRする。

1. 異文化理解・おもてなし強化セミナーの構築・実施

区内の店舗を対象に異文化理解・おもてなし強化セミナーを実施する。

例：他国の商慣習や文化を学ぶ、英会話、多言語メニュー・POP作製等

2. 「おもてなし」に積極的な店舗の調査発掘

区民と外国人で構成されるワーキンググループにより、外国人にとってであると嬉しいサービス等の『おもてなしポイント』や商店主が自ら行っているおもてなし事例を募集するなど、おもてなしに積極的に取り組む店舗を調査・発掘する。

3. 「おもてなし」店舗のPR

調査・発掘した店舗を紹介する英語版冊子等を作成する。冊子はホテルや空港、駅など外国人が多く訪れる場所に設置し、広くPRする。

◇事業予算 9,700千円

◇関連事業 英語少し通じます商店街（地域活動課）
中国語少し通じます商店街（地域活動課）
青少年地域ボランティア「おもてなしコース」（子ども育成課）

【新規】シェアサイクル社会実験開始

◇事業目的

都市の新たな交通手段として、自転車を貸し出すサイクルポートを数カ所設置し、利用者がどこでも返却可能なシェアサイクルを導入することにより、区内移動の利便性を向上させるとともに、観光スポット等へのアクセス性を高める。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催による交通需要対策の一つとしても活用していく。

◇事業内容

シェアサイクルの計画を策定するとともに、サイクルポートを設置し社会実験を行う。

1. 対象エリア 京浜東北線より東側
2. 設置場所 区役所等公共施設、道路、公園、公開空地等
3. スケジュール 平成 29 年度社会実験開始

◇事業予算 64,000千円



サイクルポート（イメージ）



問い合わせ：	(設置について) 防災まちづくり部	土木管理課長	電話 03-5742-6781
	(計画について) 都市環境部	都市計画課長	電話 03-5742-6757
	(運営について) 文化スポーツ振興部	文化観光課長	電話 03-5742-6834



【新規】観光拠点のおもてなしトイレ

◇事業目的

東京 2020 オリンピックに向け、来訪者が快適に過ごしていただく「おもてなし」としてのハード面の整備を図るため、トイレの洋式化・バリアフリー化を促進する。

◇事業内容

高齢者、障害者、外国人など誰もが使いやすい公衆便所・公園便所の洋式化、誰でもトイレ設置、多言語表記等を行い、観光客や公園利用者が安心・快適に区内を回遊できる環境を整える。

スケジュール

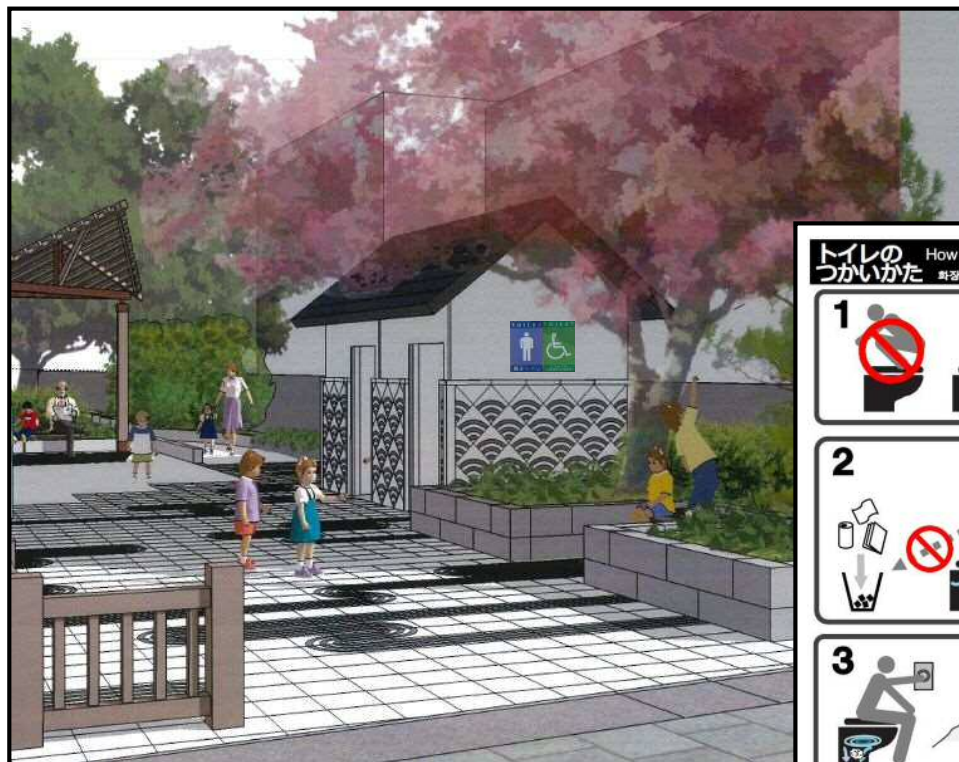
平成 29 年度

今も江戸時代のままの道幅を残す貴重な歴史遺産であり、街歩きを楽しむため国内外から多くの方が訪れる旧東海道沿い 5 カ所

平成 30 年度以降

旧東海道沿線、目黒川沿い、オリンピック会場予定地付近、ターミナル駅周辺等

◇事業予算 221,900千円



公園便所整備イメージ図



多言語表記の使用法説明シール

問い合わせ：防災まちづくり部 公園課長 電話 03-5742-6531

東品川二丁目防災棧橋 平常時の活用に向けて

◇事業目的

東品川二丁目防災棧橋の整備が平成 29 年 3 月に完了する。防災棧橋の平常時の活用に向け舟運社会実験を行うにあたり、必要な付帯施設を整備する。

◇事業内容

東品川二丁目防災棧橋に仮設の待合所・トイレを設置する。

◇事業予算 56,800千円

【整備箇所周辺状況】



問い合わせ：防災まちづくり部 河川下水道課長 電話 03-5472-6793



【新規】坂井市を、見て、知って、楽しんで ～坂井市区民交流ツアー～



◇事業目的

区では、特別区全国連携プロジェクトの一環として、平成 27 年度から福井県坂井市と交流事業として、しながわ水族館での特別展示や戸越銀座商店街に出店した坂井市のアンテナショップでのイベントなどを行っている。

平成 29 年度は、福井県で最も観光客の多い坂井市の文化・観光・歴史に触れ、区民にその魅力を知ってもらうため 40 人規模の「坂井市交流ツアー」を実施する。

◇事業内容

1. 日程 8月6日(日)～8月8日(火) 2泊3日
2. 内容 (1) 丸岡城、東尋坊の見学と「さかい夏祭り」参加などの体験プログラム
(2) 丸岡地区見学と坂井市の方々との交流会
※ 丸岡城は、現存天守閣では最古の建築様式を持つ平山城で、霞ヶ城の別名を持つ
3. 宿泊先 坂井市竹田農林交流センター「ちくちくぼんぼん」

◇事業予算 2,057千円



さかい夏祭り



東尋坊



丸岡城

問い合わせ：地域振興部 地域活動課長 電話 03-5742-6689

品川歴史館特別展「大崎・五反田ー徳川幕府直轄領の村々ー」

◇事業目的

大崎・五反田地区は、品川区を横断する目黒川と、縦断する中原街道沿いに発展してきた歴史あるまちである。中世における発展を基盤として、江戸時代には徳川幕府の直轄領として徳川将軍の鷹場に指定されたほか、将軍家の菩提寺・増上寺の子院群（下屋敷）や大名屋敷が展開されるなど、区内の他地域にはない特色ある村づくりが行われた。

今回の特別展では、近年発見が相次いでいる江戸時代の村方文書（村における公文書）を中心とした史料を使いながら、主に同時代の大崎・五反田地区を紹介する。

◇事業内容

1. 特別展の内容

- (1) 中原街道と周辺寺社の展開
- (2) 徳川幕府直轄領の村々
- (3) 増上寺子院群の展開
- (4) 上・下大崎村の大名屋敷
- (5) 近世の痕跡を歩く ー 大崎・五反田史跡案内 ー

2. 開催時期

10～12月

3. 関連イベント

- (1) しながわ観光協会・品川宿交流館と連携したキャンペーン等
- (2) 大崎・五反田歴史散歩バスツアー
- (3) 特別展記念講演会
- (4) 特別展を楽しむ会 学芸員による映像解説
- (5) お茶を楽しむ会 品川区華道茶道文化協会協力



上大崎村名主竹内家文書

(品川区指定文化財・品川歴史館所蔵)



三日月藩森家上屋敷跡遺跡出土家紋瓦

(品川区教育委員会所蔵)

◇事業予算 9,936千円

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834



区民の一大芸術イベント「品川区民芸術祭」

◇事業目的

区にゆかりのある音楽家・芸術家の協力を得ながら、区民のだれもが質の高い文化芸術に触れ親しめ、気軽に参加・鑑賞できる機会を提供する。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、日本の伝統芸能や障害者の文化芸術活動の発表・鑑賞の機会の拡充を図る。

◇事業内容

1. 開催時期 9月～11月

2. 運営体制 実施主体：品川区民芸術祭実行委員会
主催：(公財)品川文化振興事業団、品川区

3. 内 容

- (1) プロと区民によるコラボレーションコンサート、能楽鑑賞など
- (2) 美術展、作品展、アール・ブリュット展など
- (3) 音楽・ダンス・芸能など、団体・サークル活動の発表

◇事業予算 27,496千円

(内訳)	コンサート開催等	22,183千円
	区民参加型イベント	2,756千円
	品川区民作品展	2,557千円

◇連携事業 アール・ブリュット展の開催 (障害者福祉課)



ドリームステージ



ティーンズコンサート



品川区民作品展

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834

品川区3競技の応援マスコットキャラクター誕生



◇事業目的

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの区内開催競技（ホッケー、ビーチバレーボール）と応援競技（ブラインドサッカー）の3競技を周知し、各競技の認知度向上と東京2020に向けた機運醸成を図る。

◇事業内容

1. 品川区3競技応援マスコットキャラクターの展開

3競技の認知度向上のため、区民の公募により3競技応援マスコットキャラクターを決定した。それぞれ着ぐるみを作成し、イベント等に活用して周知を行う。

競技名	ホッケー	ビーチバレーボール	ブラインドサッカー
キャラクター名	シナカモン	ビーチユウ	やたたま
特徴	熱血精神のユリカモメカモン！が口癖	ビーチで育ったネズミ 体重はビーチバレーボール3個分	勝利を導くヤタガラスにあこがれる妖怪・猫又しっぽが3本!?
イラスト			

2. 品川区3競技PR映像の制作・配信

3競技のPR動画を区独自で制作し、区公式YouTubeチャンネルなどで配信

3. 大会エンブレム庁舎壁面への掲示

東京2020の公式エンブレムを庁舎壁面に掲示



◇事業予算

10,821千円

(内訳)

品川区3競技応援マスコットキャラクター展開	7,016千円
品川区3競技PR映像作成	2,359千円
大会エンブレム庁舎壁面への掲示	1,446千円

問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長
電話 03-5742-6884



【新規】品川の魅力を世界に発信 ホスピタリティハウスの誘致へ

◇事業目的

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催期間中に開設される各国のホスピタリティハウスを区に誘致することで、区の魅力を世界へ発信する。

◇事業内容

1. 各国ホスピタリティハウス誘致について調査

各国のホスピタリティハウスを誘致するため、適地と具体的な誘致策について調査

2. 品川区ホスピタリティハウス設置について検討

品川の魅力を世界に発信する、品川区のホスピタリティハウス設置について検討

◇事業予算 3,600千円

ホスピタリティハウスとは

オリンピック・パラリンピック開催都市において、世界各国、各地域、各企業などが自らをPRするために設置するハウス（展示館やパビリオン）。世界各国から開催都市に集まる多くの関係者および観戦・観光客に向けて、官民のスポーツ関係者や多種多様な企業等が自らを情報発信・PRする絶好の機会となる。

リオ大会のホスピタリティハウス事例

リオ大会では、28の国や地域、企業などが、それぞれが独自に創意工夫して個性あるホスピタリティハウスを設置した。

・ ジャパンハウス

日本、東京をPRする場であり日本の関係者・団体の活動拠点として、日本代表選手の記者会見や各種レセプション、関係者向けのホスピタリティーサービスなど、多様な催しを開催した。展示会場では、日本各地の観光スポットを紹介したほか、1,000体を超えるひな人形の展示や日本食の提供、日本酒の試飲などを実施。版画、ヨーヨー、書道、浴衣、茶道のワークショップも行われ、日本文化を世界へアピールした。

・ ポルトガルハウス

自国から帆船を持ち込み、帆船そのものをポルトガルハウスとして運河に係留させた。

・ ナイキ（スポーツ関連企業）ハウス

人々が集まるオリンピックブルバード（大通り）に設置。



問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長
電話 03-5742-6884

東京 2020 大会 1000 日前イベント「スポーツフェスタ」

◇事業目的

10 月 28 日に東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催まで 1000 日となる。これを記念し、区内開催競技（ホッケー、ビーチバレーボール）と応援競技（ブラインドサッカー）の 3 競技を中心とした様々な競技の体験や、大会に向けた区民の自主的な勉強会・講演会へのサポートを通じ、各競技と東京 2020 の認知度向上および機運醸成を図る。

◇事業内容

1. スポーツフェスタ（1000 日前イベント）

区に縁のあるリオ大会メダリストを招き、3 競技を中心に様々な体験イベントを開催

- (1)開催時期 9 月
- (2)会場 しながわ中央公園（区役所前）



2. 日本スポーツ界トップレベル競技観戦ツアー

3 競技を含む様々な競技の試合観戦、選手との交流、競技体験ができるツアーを実施

- (1)対象 区内小中学生
- (2)実施回数 5 回以上



3. ホッケー教室（初級・中級）

(1)初級

対象：小学 4 年生以上の区民
内容：ルールやドリブル、シュート等の基本

(2)中級【新規】

対象：経験者(過去のホッケー教室参加者など)
内容：中級程度の内容



4. 勉強会等講師派遣制度の創設

区内の団体等が、大会に向けて知識の習得や機運向上のために勉強会や講演会を開催した場合、講師へ支払う謝礼についてその一部を助成する。

◇事業予算

18,904 千円

(内訳)	スポーツフェスタ（1000 日前イベント）	14,494 千円
	日本スポーツ界トップレベル競技観戦ツアー	2,000 千円
	ホッケー教室（初級・中級）	2,170 千円
	勉強会等講師派遣制度の創設	240 千円

問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長
電話 03-5742-6884



パラリンピックの機運醸成・障害者スポーツを身近に

◇事業目的

パラリンピック競技の体験や交流イベント、啓発講演会を開催し、参加者が競技を身近に体感することにより、東京 2020 パラリンピックに向けて開催競技および障害者スポーツ全般への振興を図る。

◇事業内容

1. ブラインドサッカー 公式戦・出前体験教室の開催

(1) 公式戦の開催

- ・「ブラインドサッカー東日本リーグ 2017」開催
- ・ブラインドサッカー体験教室も同時開催

(2) 出前体験教室（10 回程度開催）

- ・対象：区内で定期的に活動している団体
- ・内容：団体が日頃活動している場所に講師、視覚障害者選手を派遣



2. 車椅子バスケットボール 国際親善大会の練習会場に区立総合体育館

パラリンピック競技の車椅子バスケットボールの国際親善大会に伴い、区立総合体育館が練習会場となる。期間中に、出場する外国チームと区民（子どもが中心）との交流イベントを区立総合体育館や区内学校で実施する。

(1) 期間：8月26日(土)～30日(水)

(2) 会場：区立総合体育館（東五反田 2-11-2）



3. パラリンピック啓発講演会

パラリンピック競技をテーマとした講演会・体験会の開催

◇事業予算 11,815 千円

(内訳)	ブラインドサッカー出前体験教室	1,222 千円
	ブラインドサッカー公式戦（東日本リーグ）の開催	2,803 千円
	車椅子バスケットボール交流イベント等	3,840 千円
	パラリンピック啓発講演会	3,950 千円

問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長
電話 03-5742-6884

ジュニアスポーツにチャレンジ ～二極化解消と指導者養成～

◇事業目的

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツをする子としない子の二極化を解消するため、ジュニアスポーツ教室や指導者講習会等を体系的に実施することで、ジュニアスポーツの裾野の拡大とスポーツ習慣の定着、生涯スポーツの推進を図る。

◇事業内容

1. 二極化解消事業

- (1) 親子スポーツ教室：幼児期から体を動かす楽しさを知る。
- (2) チャレンジスポーツ教室：鉄棒、跳び箱、ボール投げなど苦手種目を克服する。
- (3) 小学生 8 種目スポーツ体験教室：

品川区スポーツ協会の加盟団体の協力で、子どもたちが様々なスポーツを体験し、スポーツの楽しさや得意な種目を見つける機会を提供する。

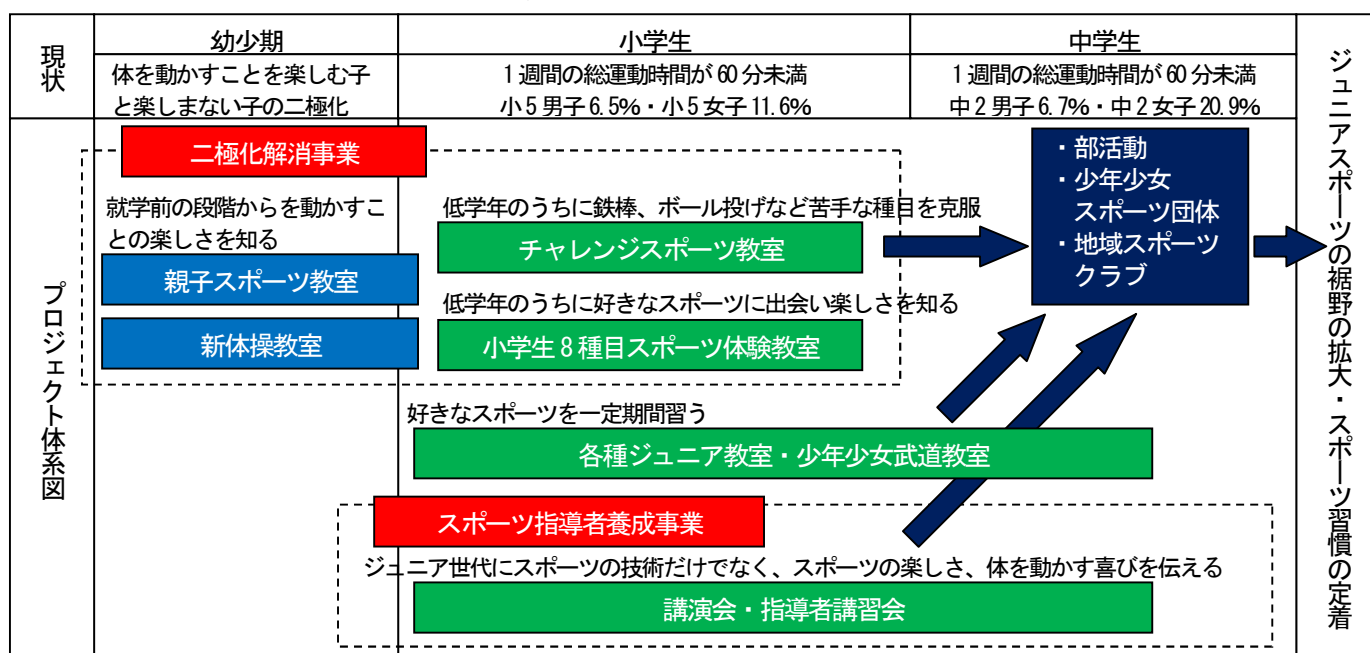
①軟式野球	②サッカー	③ソフトテニス	④卓球
⑤バドミントン	⑥柔道	⑦剣道	⑧空手道
- (4) 新体操教室：ダンスの要素を取り入れ、体を動かす楽しさを知る。

2. スポーツ指導者養成事業

子どもたちのフィジカル・メンタルの強化に実績のある講師を招き、講演会や指導者講習会などを実施し、ジュニアスポーツ指導者の指導力を向上させる。

◇事業予算

	2, 0 2 7 千円	
(内訳)	二極化解消事業	1, 417 千円
	スポーツ指導者養成事業	610 千円



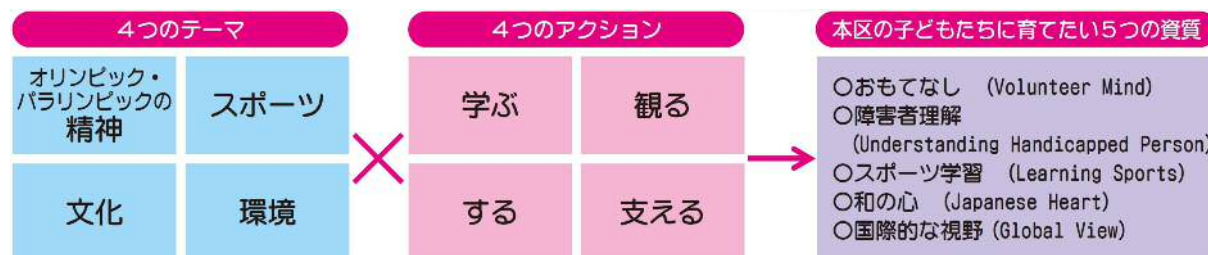
問い合わせ：文化スポーツ振興部 スポーツ推進課長 電話 03-5742-6591



オリンピック・パラリンピック教育「ようい、ドン！」

◇事業目的

区立学校の児童・生徒が、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や、その果たす役割を正しく理解するとともに、区内開催競技等について学び、東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。



◇事業内容

1. 競技体験と競技選手との交流

区内開催競技等（ホッケー、ビーチバレーボール、ブラインドサッカー）の体験教室を開催する。児童・生徒にとって東京 2020 大会がより身近なものとなるよう、当該競技選手等と児童・生徒との交流の場を設ける。



ブラインドサッカー体験教室

2. オリンピック・パラリンピック学習の充実

児童・生徒向けの区独自の教材や、教職員用の実践事例集を作成・配布し、オリンピック・パラリンピック学習を支援する。さらに、保健体育科の固有教員を増員し、競技指導の充実を図る。

3. 国際理解教育等への取り組み

オリンピック・パラリンピアンとの交流、日本の伝統・文化に触れる活動、国際理解教育、障害者理解など、各校にて様々な取り組みを行う。

※この事業は、東京都からの受託事業

◇事業予算 27,652千円

(内訳)	体験教室謝礼等	5,200千円
	区独自教材作成	3,128千円
	教職員用実践事例集作成	824千円
	東京都委託事業	18,500千円

問い合わせ：教育委員会事務局 指導課長 電話 03-5742-6830

【新規】オリンピック会場周辺の環境整備

◇事業目的

大井ふ頭中央海浜公園（八潮 4-1）が、東京 2020 オリンピックにおいてホッケー競技の会場として使用されることから、平成 31 年度（開催の前年）までに競技会場周辺道路の環境整備等を行う。

◇事業内容

平成 29 年度は無電柱化工事と自転車推奨ルート整備工事、道路標識の多言語化整備等を実施する。

1. 無電柱化事業

対象区間：競馬場通り他 1 路線（勝島一丁目 5 番先～八潮四丁目 2 番先）

2. 自転車推奨ルート整備

対象区間：桜新道他 1 路線（南大井三丁目 1 番先～南大井三丁目 35 番先）

3. 道路標識多言語化整備

対象区間：競馬場通り等（南大井一丁目 20 番先～八潮四丁目 2 番先）

◇事業予算 213,806千円

(内訳)	無電柱化事業	198,800千円
	自転車推奨ルート整備	11,800千円
	道路標識多言語化整備（設計等）	3,206千円



問い合わせ：防災まちづくり部 道路課長 電話 03-5742-6788



【新規】日本体育大学と連携 いつでもどこでも「しながわ体操」

◇事業目的

日本体育大学と連携し、いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも楽しめる体操を、身近な場所で気軽にできるスポーツ・レクリエーション活動を通して普及させ、区民の健康増進を図る。

◇事業内容

平成 28 年 6 月に「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結した日本体育大学と連携し、同大学が考案した体操を「しながわ体操」として活用する。

1. DVD・CDの作成・配布

配付予定先：区立学校 46 校（小学校 31 校、中学校 9 校、義務教育学校 6 校）
地域センター13 カ所
区関連の体操教室 ほか

2. 周知イベント

日本体育大学から講師を招き「しながわ体操」の披露と演技指導を実施する。
※開催時期、会場は未定

◇事業予算 1, 213 千円

(内訳)	ライセンス使用料、DVD・CD 作成費	682 千円
	周知イベント	531 千円



問い合わせ：文化スポーツ振興部 スポーツ推進課長 電話 03-5742-6591



【新規】都内初！全国シティプロモーションサミット in 品川区

◇事業目的

全国シティプロモーションサミットを品川区内で開催する。5回目となる同サミットが都内自治体で開催されるのは品川区が初。シティプロモーションや地方創生に高い意欲を持つ多くの自治体関係者に情報交換の場を提供すると共に、平成27年度から積極的に取り組んでいる品川区のシティプロモーションを全国の自治体関係者に広くPRする場とする。

◇事業内容

全国の自治体に参加を呼びかけ、シティプロモーションや地方創生に取り組む自治体が一堂に会するイベントを開催する。

1. 日 程 10月26日（木）～27日（金）
2. 場 所 きゅりあん（JR大井町駅前）
3. 内 容 (1) 基調講演、首長パネルディスカッション等、地域の魅力発信や定住促進に関する取り組み事例の紹介や情報交換等の場を提供する。
(2) シティプロモーションサミットにあわせて品川区の魅力を発信するプロモーション動画を同サミットのオープニングで初披露する。
(3) ブース展示で区を紹介する。
4. 経緯等 全国シティプロモーションサミットは、平成25年度に兵庫県尼崎市で第1回が開催。品川区での開催は5回目となる。

区は平成28年10月、福井県坂井市主催の第4回全国シティプロモーションサミットに、特別区全国連携プロジェクトの縁で共催自治体として参加。主催者である坂井市長から次回開催地の指名を受け、今回の開催に至った。

なお、平成26年度、相模原市で開催された第3回サミットには123自治体の参加があり、過去最多の参加自治体数。初の都内開催となる今回、全国からの交通アクセスがよい品川区での開催となるため、過去最多の参加自治体数の記録更新を見込んでいる。

◇事業予算 32,615千円

(内訳)	運營業務委託	15,892千円
	会場使用料等	1,878千円
	プロモーション動画制作委託	14,845千円

問い合わせ：企画部 副参事(広報広聴課シティプロモーション担当主査事務取扱) 電話 03-5742-6616



品川区制 70 周年キャンペーン

◇事業目的

昭和 22 年 3 月 15 日に品川区と荏原区が統合し、平成 29 年 3 月 15 日で品川区制 70 周年を迎える。区制制定日の 3 月 15 日を基準として、28 年 9 月から区制 70 周年記念事業を実施してきたが、29 年 9 月末までを事業の実施期間として、事業の PR を継続する。

◇事業内容

1. ラッピングバス「わ! しながわ号」の運行【新規】 【期間延長】

29 年 9 月末まで、区や区内商店街などのキャラクターを掲載したラッピングバスを、都営バスと東急バスで計 4 台運行。

(1) 品川区 3 競技応援マスコットキャラクター掲載バス【新規】

都営バス・東急バス 各 1 台

(2) 防犯マスコット“しなぼう”、区内商店街などのキャラクター掲載バス【期間延長】

都営バス・東急バス 各 1 台 (運行期間: 29 年 3 月まで→9 月まで)

2. のぼり旗の掲出【追加】

3. リーフレットの作成【追加】

4. 商店街 PR 事業への補助【新規】

各商店街が作成する街路灯ペナントに「区制 70 周年」という文言を入れて製作した場合に、ペナント 1 枚当たり 1,000 円を補助する。

◇事業予算 5, 530 千円

(内訳)	ラッピングバスの走行	3,690 千円
	のぼり旗の作成	270 千円
	リーフレットの作成	250 千円
	商店街への補助制度	1,320 千円



品川区 3 競技
応援マスコットキャラクター

ホッケー
「シナカモン」

ビーチバレーボール
「ビーチュウ」

ブラインドサッカー
「やたたま」

問い合わせ：総務部 総務課長

電話 03-5742-6623

文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長

電話 03-5742-6884

【新規】原動機付自転車「ご当地ナンバープレート」で区の魅力発信

◇事業目的

品川区を象徴するデザインのご当地ナンバープレートを新たに導入することで、区民の区への郷土愛を深める。また、ご当地ナンバープレートを付けた原動機付自転車が区外を走行することで、区の魅力発信とイメージアップを図る。

◇事業内容

品川区を象徴するデザインのご当地ナンバープレートを一定数作成する。利用者は、ご当地ナンバープレートと通常のナンバープレートのどちらかを選択できる。

(1) 交付開始時期	平成 30 年 4 月 1 日
(2) デザイン	デザイン選定方法については検討中
(3) 対象車種・枚数	合計 2,000 枚発行
	・ 50cc 以下（白ナンバー） 1,000 枚
	・ 50cc 超 90cc 以下（黄色ナンバー） 200 枚
	・ 90cc 超 125cc 以下（桃色ナンバー） 800 枚

◇事業予算 1,053 千円



問い合わせ：総務部 税務課長 電話 03-5742-6661



【新規】立会川・勝島地区まちづくりビジョンを策定

◇事業目的

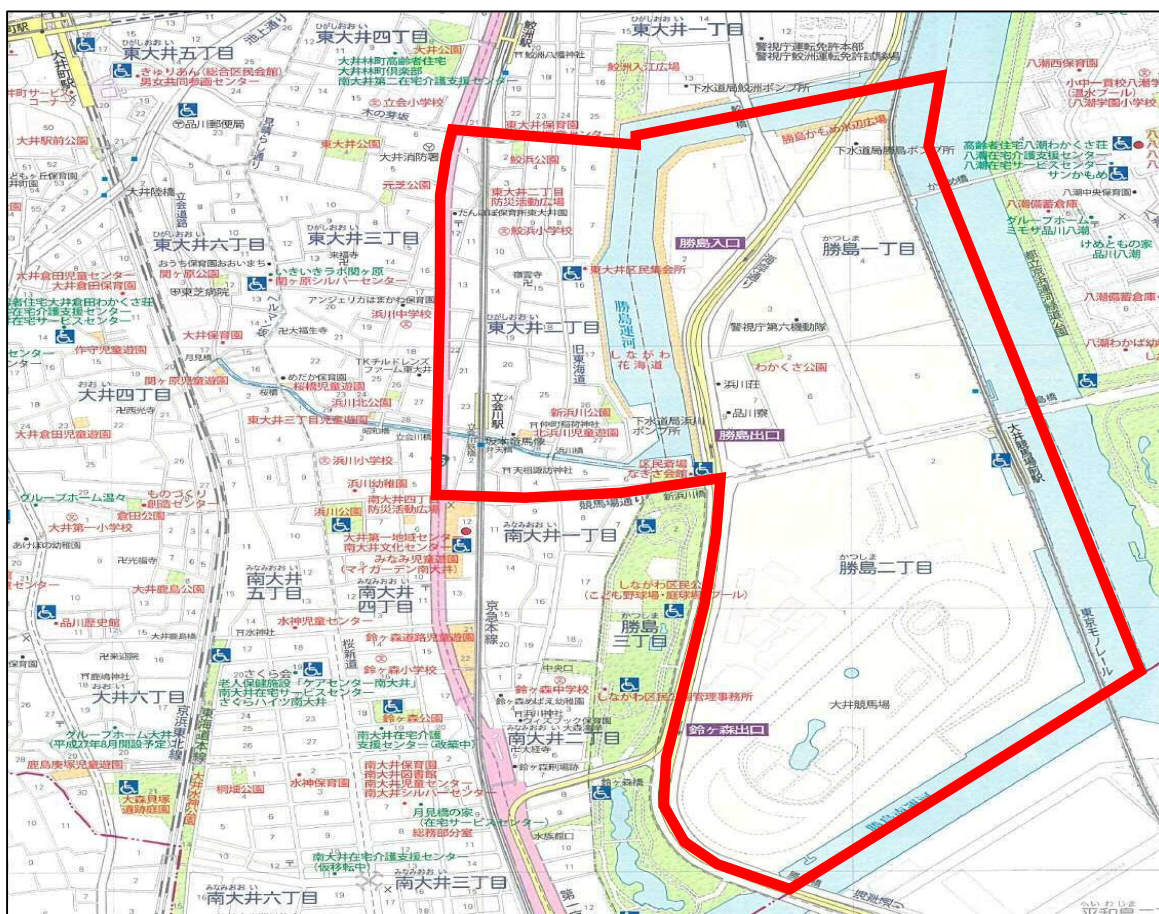
勝島エリアは、その一角をなしていた倉庫街等にマンション建設ラッシュが生じるとともに、立会川駅が東京 2020 オリンピック会場の周辺駅となるなど、立会川・勝島地区の土地利用状況は大きく変化してきている。

地区の現状の課題を整理し、課題に対応した今後のまちづくりの方針となる「まちづくりビジョン」を平成 29 年度に策定する。

◇事業内容

しながわ花海道の水辺環境整備や勝島運河ルネサンスの取り組み、東京 2020 オリンピック施設周辺無電柱化事業、立会川・勝島運河環境整備などと併せ、地域の声や現状の課題等を踏まえ、まちづくりビジョンを策定する。

◇事業予算 8, 100千円



問い合わせ：都市環境部 都市計画課長 電話 03-5742-6757

【新規】八潮地区 まちづくり検討スタート

◇事業目的

八潮団地は入居から 30 年余が経過し、団地内の人口バランスが少子高齢化へ大きく変わってきている。住民ニーズの変化や団地の老朽化の進行を見据えた将来の八潮団地のあり方を考えるべきとの声が地域からも上がっていることから、八潮における今後のまちづくりについて検討を開始する。

◇事業内容

1. 勉強会の開催

住民ニーズの変化や将来の団地の老朽化への進行を踏まえ、まちづくり検討の前段階として地域の勉強会を開催する。

- (1) 都市再生機構や東京都住宅供給公社等の各団体や地元自治会との勉強会
- (2) 今後の八潮のまちづくりに向けた地域との意見交換の場

2. まちづくり検討

現状の課題整理と都内他地区における団地再生の実例調査等を行う。

◇事業予算

5, 150 千円	
(内訳)	勉強会開催経費 150 千円
	まちづくり検討業務委託 5,000 千円



問い合わせ：都市環境部 都市計画課長 電話 03-5742-6757



【新規】しながわ水族館 夢の水槽&ペンギンランドリニューアル

◇事業目的

しながわ水族館は、平成 28 年 10 月に開館 25 周年を迎え、区内外から累計 1,800 万人が来館され楽しんでもらっている。

平成 29 年度は、開館 25 周年事業で区民から公募した“しながわ水族館にあったらいいなと思う水槽”のアイデアのうち、最優秀賞作品を実際に展示する。

また、ペンギンランドの水槽を改修し、生息地に近い環境整備によるペンギンの繁殖や餌やり体験場の設置などサービスの向上を図る。

◇事業内容

1. 夢の水槽展示

区民公募から選ばれた最優秀賞の作品「オリンピックを意識した、地球がモチーフの水槽」を実際の形にし、小中学生の夏休み期間に公開する。

2. ペンギンランドのリニューアル

ペンギンランドを改修し、ペンギンの生息地に近い状況にすることにより、ペンギンが繁殖しやすい環境を整備する。また、来館者がペンギンとより身近にふれあえるよう、餌やり体験が出来る場を整備する。

◇事業予算 39,500千円



問い合わせ：防災まちづくり部 公園課長 電話 03-5742-6531



【新規】品川の魅力発見&若者の出会いを応援

◇事業目的

現在、区に住んでいる20～30代の若者は約11万5千人を数え、区の総人口の約3割を占める。また、区外からの就労や通学を含めた多くの若者に、これまでの職域や学域による交流を越えた、新たな仲間づくりと出会いの機会と場を提供し、その輪の拡充を図る。

さらに、区内で暮らし、働き、学ぶ若者世代に「しながわ」を実感・意識し、愛着を持ってもらう。

◇事業内容

1. 品川の魅力を活用した仲間づくり

品川区には、古き良きまち並みから近代的でおしゃれなビル街まで、様々な顔がある。若者が楽しめる代表的な観光スポットに加え、生活に密着した商店街には老舗や新規開店した特色ある店舗も豊富にあり、人々に活気を提供している。これら品川の魅力を活用し、商店街やしながわ水族館、プラネタリウムなどを会場とした若者同士が楽しめるイベントを開催する。

2. 若者の交流の場

若者同士が自由に情報交換や交流できる場を設定する。

在住・在勤・在学など品川つながりの若者が一堂に会し、出会いと交流を目的とした集団パーティを開催する。

◇事業予算 1, 200千円



町会・自治会の活動助成を拡充

◇事業目的

区では、平成 28 年 4 月 1 日から 23 区では初となる「品川区町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例」を施行し、地域コミュニティの核である町会・自治会の活動活性化のため、支援の姿勢を明確にした。

平成 29 年度は、より一層の町会・自治会活動の活性化をめざし、各種支援の充実を図る。

◇事業内容

1. 安心して活動できるように

町会・自治会が従来加入している保険は、交通安全運動や夜警など、危険性を伴う事業については適用対象外となっている。

町会・自治会員が安心して活動できるよう、これらの活動も適用対象となる保険への加入を進めるため、助成を拡充する。

2. 活動拠点となる会館への支援

会館を持たない町会・自治会が、活動の拠点施設を借りる場合に、賃借料の一部を補助する。

また、会館所有を促進するため、町会・自治会への建設補助金の限度額を、1,000 万円から 2,000 万円に増額する。既に会館を所有する町会・自治会には、耐震診断・耐震補強設計・耐震改修の補助を継続。

3. 新規事業応援助成の充実

町会・自治会への加入促進・活動活性化を図るための事業を促進するため、新たな事業を開始する際の助成を現 40 町会から 50 町会へ増。

◇事業予算 99,040 千円

(内訳)	保険加入助成の充実	21,640 千円
	活動拠点賃借料補助【新規】	4,500 千円
	町会・自治会館等建設補助金の充実	34,000 千円
	耐震診断・補強設計・耐震改修補助の継続	29,400 千円
	活動活性化支援助成の充実	9,500 千円

企業等との協働推進 「しながわ CSR 推進協議会」

◇事業目的

区は、基本構想の理念の一つとして「区民と区との協働で『私たちのまち』品川区をつくる」を掲げ、企業等と区が協働したまちづくりを推進している。平成 22 年 5 月に品川区を含む 22 社・事業所で発足した「しながわ CSR 推進協議会」は、現在 69 社・事業所となっている。

平成 29 年度は、28 年度に制作した協議会の紹介番組を、様々なメディアを活用して区内外へ PR し、会員企業ならびに区内企業の CSR 活動を促進する。

◇事業内容

1. 協議会紹介番組を活用した区内外への PR

平成 28 年度制作した協議会および会員企業の社会貢献活動の紹介番組（20 分×1 本、2 分×1 本）を様々なメディアを活用し、活動内容を区内外に発信する。

- (1) ケーブルテレビ品川
- (2) 区公式ユーチューブチャンネル「しながわネット TV」
- (3) 大崎ウェルカムビジョン(大崎駅前)

2. 講演会および活動事例発表会

CSR に関する講演会と会員企業による活動事例発表会の開催（平成 30 年 2 月）

【平成 28 年度 講演会および活動事例発表会】

- (1) 日程 平成 29 年 2 月 7 日（火）
- (2) 会場 きゅりあん（JR 大井町駅前）
- (3) 講師 CSR アジア 日本代表 赤羽真紀子氏
- (4) テーマ 「企業の社会貢献活動 どう社内に根付かせるか」

3. その他の活動・事業など

合同活動(清掃美化活動等)、総会、幹事会、課題別分科会、パネル展、企業の CSR 活動の紹介パンフレット作成、メールマガジンの発行（月 1 回程度）など。

◇事業予算 1, 147 千円

(内訳)	講演会および活動事例発表会、合同活動、総会など	604 千円
	パンフレット作成など	543 千円



協議会紹介番組の放映
(大崎ウェルカムビジョン)



活動事例発表会



合同活動
(しながわ花海道 種まき活動)

問い合わせ：総務部 総務課長 電話 03-5742-6623



【新規】大学との協働推進 「しながわ大学連携推進協議会」設立

◇事業目的

区と大学との包括的な連携のもと、教育・文化、健康・福祉、産業・観光、環境、まちづくりの政策でそれぞれが一層の協力関係を構築し、区における地域の課題解決および大学の教育・研究機能の向上を推進し、もって地域社会の発展に寄与する。

◇事業内容

1. 「しながわ大学連携推進協議会」設立

定例的な活動を行うほか、社会貢献活動等に関する情報発信・交換を行いながら、各大学が環境・教育・福祉・地域活動など様々な分野において社会貢献活動を進めていく。

(1)構成（大学名は協定締結順）

星薬科大学、立正大学、清泉女子大学、昭和大学、品川区の5団体

(2)活動内容

- ・準備会 第1回：平成28年10月20日(木) 区役所にて開催
第2回：平成28年12月13日(火) 清泉女子大学にて開催
- ・総会 第1回：2月9日(木) 区役所にて開催
※以降、年1回(毎年4～5月頃)開催
- ・合同活動 年1～2回程度(しながわエコフェスティバルへの出展等)開催
※学生が主となって活動する

2. 地域社会貢献活動支援補助

各大学の地域社会貢献活動を支援するための補助金を支出する。

◇事業予算 1,756千円

(内訳)	協議会総会開催経費	69千円
	連携推進パンフレット作成委託	300千円
	合同活動参加経費	387千円
	地域社会貢献活動支援補助金	1,000千円



しながわ大学連携推進協議会準備会の様子（清泉女子大学本館「旧島津公爵邸」）

問い合わせ：総務部 総務課長 電話 03-5742-6623

しながわ学びの杜・品川シルバー大学「ふれあいコース」を拡充

◇事業目的

品川の生涯学習「しながわ学びの杜」の大きな事業である品川シルバー大学「ふれあいコース」の定員を拡大し、より多くの高齢者に生涯学習機会を提供することで、高齢者のいきがいや受講後の自主的な生涯学習活動、地域活動への展開につなげる。

◇事業内容

品川シルバー大学「ふれあいコース」の定員を140人→160人に拡大する。

1. 「ふれあいコース」の概要

- ・品川シルバー大学「ふれあいアカデミー」3年制の1年目のコース
- ・前期(5～7月)10回、後期(9～11月)10回、計20回の講座等を実施
- ・生きがい、シニア世代の課題、心の充実などをバランスよく学ぶ
- ・施設等見学会、テーマ発表会などで交流・親睦を図る

2. 定員拡大の経過

平成5年度、品川シルバー大学開校の定員100人から、3回にわたって各10～20人拡大し、23年度に定員140人とした。

- ・平成5年度 定員100人
- ・平成12年度 定員120人
- ・平成15年度 定員130人
- ・平成23年度 定員140人
- ・平成29年度 定員160人

◇事業予算 11,741千円



記念講演会



記念講演会



施設見学会

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5472-6834



品川の生涯学習「しながわ学びの杜」講座の充実

◇事業目的

平成 27 年 4 月に開設された品川の生涯学習「しながわ学びの杜」が 3 年目を迎え、一部の講座のリニューアル等を行い、さらなる充実を図る。

◇事業内容

1. パソコン・タブレット講座

「しながわ学びの杜」オープンカレッジの「パソコン講座」を「パソコン・タブレット講座」にリニューアルする。

(1) コース内容

全 4 回：ワード 1 回、エクセル 1 回、タブレット 2 回

(2) 対象者

16 歳以上の区内在住・在勤・在学者

2. インターネット配信

「しながわ学びの杜」で実施した一部の講座を品川区公式ユーチューブチャンネル「しながわネット TV」で配信する。平成 29 年度は、講座 3 本を配信。

(1) 平成 27 年度

①品川区史 2014 関連講座「新しい品川区史をどう読むか」【ユーチューブ配信中】

講師：品川歴史館館長

②しながわ学「水辺から見た品川の歴史—海に開かれたまち・品川—」

【「しながわ WEB 映像館」のみで配信中(2 月末まで)】

講師：元品川歴史館統括学芸員

(2) 平成 28 年度

①「インテリ王子ハムレット」と「学者王ジェイムズ」【ユーチューブ配信中】

立正大学共催

②「カブキ者の時代」

杉野学園共催、3 月配信

◇事業予算 1, 509 千円

(内訳) パソコン・タブレット講座企画運営委託 417 千円

撮影・インターネット配信 (講座 3 本) 1,092 千円



インターネット配信



品川歴史館館長
北原 進



パソコン講座

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834

【新規】全国初！モンゴルとの科学技術交流をスタート

◇事業目的

平成 26 年に日本の高等専門学校（高専）をモデルに開設されたモンゴル国の高専と区内製造業等との交流・連携事業を実施することにより、長期的な科学技術分野での相互交流を図る。

また、モンゴル高専卒業生の区内製造業へのインターンシップ実施および就職等により、技術者不足に悩む区内製造業の人材確保、技術者の育成および事業の継続を支援する。

◇事業内容

モンゴル高専との科学技術分野における短期交流事業を実施する。また、次年度以降のモンゴル高専と区内製造業との本格的な連携に向けたきっかけづくりを行う。

交流事業の実施

学生 10 人を品川区で受け入れる。8～9 月の 8 日間程度。

- (1) 品川区紹介、品川産業支援交流施設（SHIP）等区内産業関連施設見学
- (2) 区内製造業での技術体験・技術指導、区内企業経営者による講演
- (3) 都立産業技術研究センター、日本科学未来館等科学技術関連施設の見学
- (4) 都立産業技術高専との交流事業（交流会・共同製作）等

※区と連携協定を締結している都立産業技術高専の協力を得ながら実施

◇事業予算 4, 800 千円

(内訳)	科学技術交流事業実施経費	4, 500 千円
	区職員による現地視察経費	300 千円

【モンゴル国】



平成 28 年 6 月に日本との間に EPA（経済連携協定）が発効し、今後 10 年間で両国間の関税の多くが撤廃される等、両国にとってビジネスチャンスが広がる可能性がある。親日国。

【モンゴル高専】

日本の高専をモデルに、国際的に活躍できる人材の育成およびモンゴル国の発展に寄与する工学人材の育成を目指し、平成 26 年 9 月に 3 つの高専が開校。日本政府は、日本の高専のノウハウを輸出し、現地での開設を促す事業を本年度から開始、平成 28 年 11 月にはモンゴルに高専運営の支援窓口となる拠点を初めて設置した。



【新規】新ビジネス・新サービスの創出 ～情報通信業の企業間連携支援～

◇事業目的

近年、IoT（Internet Of Things）、ビッグデータ、AI（Artificial Intelligence）等の技術が進展する中、五反田・大崎周辺に ICT（Information Communication Technology）と関連する情報通信事業者、ベンチャー企業等の集積が見られるようになってきた。そこで、当該情報通信事業者等を中心とした企業グループ（クラスター）の立ち上げの支援および事業への支援を行うことにより、新ビジネス・新サービスの創出を図る。

◇事業内容

1. 情報クラスター交流会

企業間連携強化のための情報通信事業者等による企業交流会を開催する。

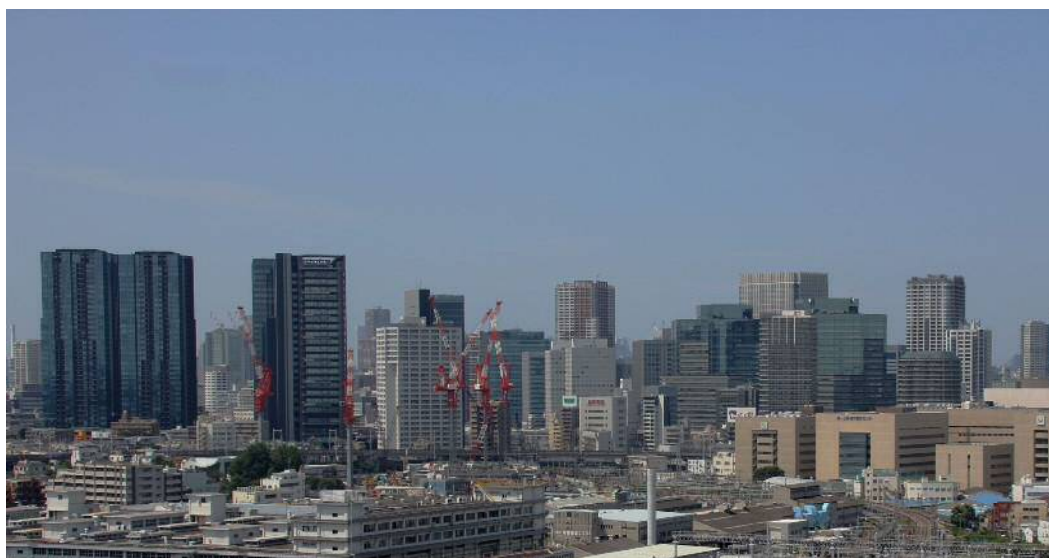
2. 情報クラスターフェア（仮称）

新たなイノベーションを生む情報通信業の一大拠点都市として品川区をPRし、区へのさらなる企業立地の促進および企業間交流等を図るため、品川産業支援交流施設（SHIP）で、ICTに係るシンポジウムおよび企業交流会を開催する。

※平成 30 年度以降、企業グループによる共同研究・開発への支援やビジネスマッチング等支援内容を拡充。

◇事業予算 2, 380 千円

（内訳）	情報クラスター交流会開催経費	356 千円
	情報クラスターフェア開催経費	2,024 千円



問い合わせ：地域振興部 産業活性化担当課長 電話 03-5498-6336



永年にわたる豊富な知識と経験を次代につなぐ ～創業 100 年以上の事業所を表彰～

◇事業目的

これまで産業のまち品川の事業所は、区の産業経済だけではなく、地域コミュニティの担い手としての役割を果たしてきた。永年にわたり事業を継続している区内事業所に対し、区内産業・地域コミュニティへの貢献および永年の努力に敬意を表し顕彰する。

これまでの受賞事業所を紹介する PR 冊子を作成し、受賞事業所の永年の知識や経験を区内企業の事業承継に有効活用する。

◇事業内容

1. 顕彰事業所 10月1日現在100年以上事業を継続し、品川区内で70年以上継続している20事業所程度
2. 顕彰式等
 - (1) 事業承継フォーラム（講演会とパネルディスカッション）
顕彰式（表彰状、記念トロフィー等を授与）
※会場内で品川の産業の歴史や受賞事業所を紹介したパネル展示等を実施
 - (2) 祝賀懇談会（立食形式）
 - (3) 会場：品川産業支援交流施設（SHIP）大崎ブライトコアホール
3. PR 冊子 受賞事業所の事業継続のノウハウ等を紹介した PR 冊子を作成し、区内企業などに配布する。

◇事業予算 6,723千円

(内訳)	顕彰式経費等	1,723千円
	PR 冊子作成	5,000千円

◇連携事業 事業承継支援事業（商業・ものづくり課）



中小企業の円滑な事業承継を支援

◇事業目的

区内中小企業の多くが経営者が高齢化していることを踏まえ、事業の継続と経営の安定を図るため、後継者不足などに悩む経営者が円滑に事業承継を実施できるよう支援し、区内産業の活性化を図る。

◇事業内容

平成 28 年度からの新規事業について、事業周知の拡充や後継者塾の新設、融資あっせんによる資金面の支援を創設し、経営者および後継者へのさらなる支援事業を実施する。

1. 事業周知の拡充とニーズの発掘

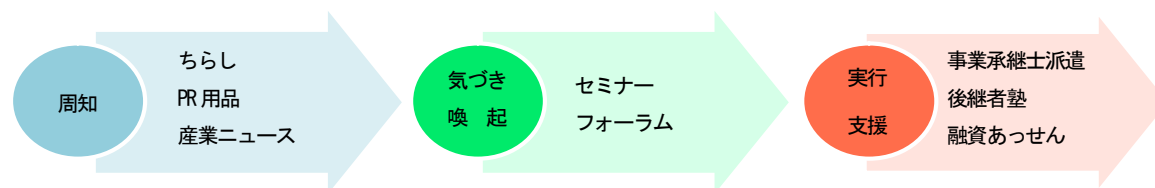
- (1) 区内金融機関および関連産業団体と連携し、より一層の事業周知を図る。
- (2) 啓発ちらしに加え、PR 用品、産業ニュース特集号、折込ちらしを配布する。

2. 事業承継の早期取組みに向けた気づきの喚起

- (1) セミナーの開催 年 6 回
- (2) 事業承継フォーラムの開催（永年継続事業所顕彰式と同時開催）

3. 事業承継の実行支援

- (1) 専門家「事業承継士」の派遣による無料相談の拡大 年 30 回から 36 回へ
- (2) 後継者塾の新設 年 1 講座（全 8 回）【新規】
- (3) 融資あっせん「事業承継支援資金」の創設【新規】
 - ① あっ旋限度額 2,000 万円
 - ② 利率(本人負担) 3 年目まで無利子、4 年目以降 0.6% 以内
 - ③ 返済期間 7 年以内（うち据置月数 6 ヶ月）
 - ④ 信用保証料補助率 3 分の 2



◇事業予算 18,684 千円

(内訳)	事業周知等	1,507 千円
	事業承継支援事業委託	7,953 千円
	事業承継フォーラム運営委託	1,554 千円
	融資あっせん「事業承継支援資金」	7,670 千円

◇連携事業 永年継続事業所顕彰事業（商業・ものづくり課）

問い合わせ：地域振興部 商業・ものづくり課長 電話 03-5498-6331



産業構造の変化に対応する中小企業向け支援メニューを充実

◇事業目的

IoT (Internet Of Things) 等により、今後、産業構造が大きく変化し、製造業と他産業が技術革新やビジネスモデルをキーに結び付き、新たなビジネスにつながる可能性がでてきた。

区内産業のさらなる活性化のため、これまでの製造業への支援を継続しつつ、個々の企業が産業構造の変化に対応できる力を培うための支援を行うとともに、業種の枠を越え、さまざまな分野での連携を可能とする環境を創出する。

◇事業内容

製造業等への支援事業のうち、業種を拡大することによる事業効果が高いものについて、支援対象となる業種枠（製造業・情報通信業）を撤廃する。

1. 品川技術ブランドPR事業 国内・海外展示会出展費助成
販路拡大を支援
2. ビジネス・カタリスト等活用事業 ビジネス・カタリスト派遣（※）
経営戦略、IT活用、法務、知的財産等、様々な課題解決を支援
3. 企業活力づくり支援事業 知的財産権取得経費助成
自社ブランド等での差別化を支援
4. 海外進出推進事業 海外市場調査経費助成
海外進出に向けた取り組みを支援

※ビジネス・カタリスト派遣

豊富なビジネス経験を持つ企業実務経験者や各分野における専門家、大学・高専等の研究者・技術者を「ビジネス・カタリスト」として登録し、企業より相談があった場合、適任と思われるカタリストを派遣し、問題解決に向けて具体的なアドバイスを提供する。

◇事業予算 11,408千円